

鎌倉市の未来を一緒に考えましょう

「これからの鎌倉市の公共施設を考える」

～結論を先送りにしない、次世代に向けた取り組み～

鎌倉市では、昭和30年代からの急激な人口増加を背景に、多くの公共施設を整備してきましたが、現在、これらの公共施設の老朽化が進んでおり、今後、多くの施設が改修や更新の時期を迎えます。

そこで、鎌倉市では、市が保有している公共施設（建築物）について、その機能や配置状況、利用状況や稼働状況などについて実態を把握し、市民の皆さんにも公共施設の現状を知っていただくために、平成24年3月に「鎌倉市公共施設白書」を作成し、現在、公共施設再編計画基本方針の策定に取り組んでいます。老朽化問題は、笹子トンネル事故で明らかになった通り、市民の生命財産の安全に直結する最優先のテーマです。

このような公共施設の現状や取り組みについて、市民の皆さまと情報を共有するとともに、今後の公共施設のあり方について共に考えていただく機会として、シンポジウムを開催します。

■基調講演

「公共施設マネジメントはなぜ必要か」

～物理的崩壊と財政破たんを避ける道～

東洋大学経済学部 教授

根本 祐二 氏

■パネルディスカッション

「どうする？鎌倉市の公共施設」

〔コーディネーター〕

東洋大学経済学部 教授 根本 祐二 氏

〔パネリスト〕

鎌倉市公共施設再編計画策定委員会委員

日時：平成25年 2月2日(土)

10:00～12:00

(開場 9:30)

場所：鎌倉商工会議所(地下ホール)

鎌倉市御成町17-29

入場無料(定員150名・先着順)

主催：鎌倉市

公共施設のあり方を考えるシンポジウム

◆シンポジウム次第

1. 開会

2. あいさつ

鎌倉市長 松尾 崇

3. 基調講演

「公共施設マネジメントはなぜ必要か」

～物理的崩壊と財政破たんを避ける道～

東洋大学経済学部 教授 根本 祐二 氏



鎌倉市公共施設再編計画策定委員会

4. 本市の取り組み状況

「鎌倉市の公共施設再編の取り組み」

5. パネルディスカッション

「どうする？鎌倉市の公共施設」

〔コーディネーター〕

根本 祐二 氏（東洋大学経済学部 教授）

〔パネリスト（鎌倉市公共施設再編計画策定委員会委員）〕

小松 幸夫 氏（早稲田大学創造理工学部 教授）

増井 玲子 氏（東洋大学PPP研究センターリサーチパートナー）

南 学 氏（鎌倉市政策創造専門委員、神奈川大学人間科学部 特任教授）

瀧澤 由人 氏（鎌倉市副市長）

6. 質疑応答

◆会場案内図



◆アクセス

JR鎌倉駅より徒歩3分

※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

◆講演者プロフィール



根本 祐二 氏

東洋大学経済学部教授、東洋大学PPP研究センター長

1954年鹿児島県生まれ。1978年東京大学経済学部卒業後、日本政策投資銀行入行。

地域開発部、米国ブルッキングス研究所客員研究員、設備投資研究所主任研究員、地域企画部長などを経て2006年、東洋大学経済学部教授に就任。

専門は公民連携、地域再生。内閣府、国土交通省、東京都、横浜市などで公職多数。